Pict star

＜VP8360＞

取扱説明書

AXES

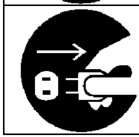
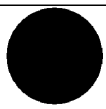
1．はじめに

この度は、PictStar VP8360 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ずお読みください。
この取扱説明書は、大切に保管してください。

【安全上の注意】<必ず守っていただくようお願いします>
本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左の表示例は「分解禁止」を表しています。
	 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。 左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

警告

	本体の内部や隙間に金属片を落としたり、水やコーヒーなどの液体をこぼさないでください。 火災や感電、故障の原因となります。
	電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源ケーブルに傷がついて火災や感電の原因になります。 電源ケーブルに傷がついた場合は使用しないでください。
	本体および AC アダプタは絶対に分解や改造しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。

注意

	指定以外の AC アダプタは使用しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。
	湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。
	電源ケーブルや接続ケーブルをコンセントやコネクタから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。 ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。
	次のような場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ◆ 異常状態から回復できないとき ◆ 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき ◆ 本装置の内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき。 異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。

ご注意

本製品は使用メディアのフォーマット、動作環境によりまれにデータを完全にコピー出来ない場合がございます。通常のご利用の前にデーターコピーが完全に行われているか動作チェックすることをお勧めいたします。当社では本製品の利用におけるデータの破損、消失等のつきましては一切の責任を負いませんのでご注意願います。

目次

特徴

VP8360 は、新世代の Pict Star シリーズ製品で USB2.0 互換インターフェースと作動状況、画像も表示可能な液晶表示パネルを装備した製品で、デジタルカメラデータの保存に最適なポータブル フォト ストレージです。バッテリーを搭載し、いつでもどこでも、デジタルカメラ写真データなど容量を気にすることなく簡単に内蔵ハードディスクに転送、保存して、画像、映像を再生することが可能です。

ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更する場合がございます。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や、誤りなどお気づきになりましたら弊社までご連絡いただきます様お願いします。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。
- 本製品は日本国内での使用のみサポートいたします。
- 本書及び本製品に使用されている、社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。
- 必要に応じて内蔵ソフト（ファームウェアー）の更新を行うことがあります。この場合は弊社ホームページ等にて詳細を告知いたします。本製品は日本国内向けに設計されております。弊社告知内容以外にファームウェアーを更新された場合正常に動作しない場合があります。またこの場合は一切のサポートがお受けできませんので絶対に更新をしないでください。

付属品

VP8360 には下記のものが含まれています

■ VP8360 本体(バッテリー内臓)	1
■ クレードル	1
■ 日本語マニュアル	1
■ セットアップ CD-ROM	1
■ キャリングケース	1
■ USB ケーブル	1
■ リモコン	1
■ AC アダプター	1
■ ステレオイヤホン	1
■ Line-in ケーブル(オーディオ入力用)	1
■ Audio ケーブル(アンプ等入出力用)	1
■ AV ケーブル（クレードル入力用）	1
■ AV ケーブル（クレードル出力用）	1
■ ビデオケーブル	1
■ 音声入力用ケーブ	1
■ リセット用ドライバー	1
■ 液晶パネル保護シート	1
■ 液晶パネルクリーナー	1

仕様

画像表示	ファイルタイプ	– **JPEG**：ベースライン YUV – **TIFF**：1, 8 ビット グレイスケール、 8 ビット index カラー、 16 ビット true カラー – **BMP**：モノクロ、8ビット index カラー、RGB RLE8 – **GIF** – **RAW**：対応機種は以下※1 をご確認ください。
	ズーム表示	IN/Out
	ランダム再生	「SHUFFLE」機能搭載
	画像回転	90 度
	スライドショウ	BGM 再生可能
オーディオ	ファイルタイプ	– **MP3**：MPEG-1 Layer I/II/III, MPEG-2 Layer 2.5 サンプルレート 48KHz 以下、 ビットレート 16～384kbps, CBR 、VBR、 Stereo／Mono .MP3 ファイルフォーマット – **WMA**：WMA バージョン 7, 8, 9, サンプルレート 44KHz 以下、ビットレート 32～192kbps CBR、Stereo／Mono .WMA ファイルフォーマット – **AAC**：MPEG4-AAC, サンプルレート 48KHz 以下、 ビットレート 16～320kbps, CBR, VBR, ABR, Stereo／Mono .M4A .もしくは AAC ファイルフォーマット – **WAV**：サンプルレート 48KHz 以下, Stereo／Mono、非圧縮 8 or 16bits PCM in MS-RIFF WAV, .WAV ファイルフォーマット – **CDA**：オーディオ CD (44.1KHz Stereo)
	イコライザー	Normal / Bass / Classic / Dance / Live / Rock / Treble
	ランダム再生	「SHUFFLE」機能搭載
	ID3	マルチランゲージ対応
	録音	内蔵マイク及びオンラインによる録音

フォト ストレージ	対応メモリカード	SD メモリーカード 16MB ～ 1GB※ｾｷｭｱ機能は未対応 MiniSD メモリーカード(ｱﾀﾞﾌﾟﾀ使用) 8MB ～ 512MB ※ｾｷｭｱ機能は未対応 マルチメディアカード(MMC) 16MB ～ 256MB メモリースティック 16MB ～ 256MB メモリースティック PRO 256MB ～ 1GB メモリースティック Duo(ｱﾀﾞﾌﾟﾀ使用) 8MB ～ 128MB メモリースティック PRO Duo(ｱﾀﾞﾌﾟﾀ使用) 256MB ～ 512MB コンパクトフラッシュ 16MB ～ 4GB マイクロドライブ 340MB ～ 4GB(IBM 製)
ビデオ再生	再生タイプ	– **AVI**：Motion-JPEG AVI、640×480 30fps PCM audio – **MOV**：Motion-JPEG MOV、640×480 30fps PCM audio
	再生画質	– **MPEG-1** 解像度:640×480 30fps ビットレート:3Mbps 音声:MPEG-1 Layer I/II/III、フォーマット形式 MPG/.DAT ,VCD – **MPEG-4** 解像度:720×480 25fps / 640×480 30fps / ビットレート:4Mbps 音声:AAC+、フォーマット形式:.MP4/シンプルプロファイル(4MV未サポート ISO 準拠
一般	液晶	3.6 インチ TFT カラー液晶、解像度 320×240
	インターフェース	USB 2.0 インターフェースポート搭載 USB1.1上位互換
	AV端子	本体 ビデオ出力、オーディオ出力端子(L/R) クレードル ビデオ入力／出力端子(アナログコンポジットRCA)
	TV出力形式	NTSC/PAL ※日本国内でサポートされるのはNTSC方式のみとなります。
	ハードディスク	約100GB (FAT32フォーマット済)
	リモコン	IrDA,(ﾊﾞｯﾃﾘｰ CR2025 3V ×1)
	ACアダプタ	5V 2.5A DC IN 100V～240V AC/DCアダプタ
	バッテリー	Li-ion 3.7V 2300mA バッテリー寿命 ・ファイル転送:コンパクトフラッシュ(CF) 1GB 約 38 回、 ・音楽再生 約 12 時間 ・ビデオ再生 約 4 時間、・充電可能回数 約 500 回 ※バッテリー寿命は使用環境により異なります。
	サイズ(WxLxH)	72x135x23mm
	質量	236g (バッテリーを含む)

	対応OS	Windows98/98SE (ドライバーインストールが必要) Windows XP/ Win 2000 SP3 以上ソフトウエア不要 MacOS X 10.1 以降 ※VP8360 は Windows 2000 SP1 , SP2 ,ではサポートされません SP3 以上のアップグレードが必要です。

※1RAW データー対応機種(2006 年 6 月 23 日現在)

Canon: 1Ds Mark-II, 1D Mark II N, 1Ds, 1D-II, 1D, 5D, 20D, 10D, 300D(Digital Rebel, Kiss Digital), Digital Rebel XT, D30, Power Shot G1/G2/G3/G5/G6 ,350D

Nikon: D200, D100, D70, D50, D1X, D2X, D1H, D1, E5000

Kodak: DSC Pro SLR/c, DSC Pro SLR/n, DSC Pro 14n, P850, P880

Fujifilm: FinePix S2Pro, FinePix S3Pro ,Finepix S5500 ,Finepix E900

Olympus: E-1, E-500 ,E-300

Minolta: DiMAGE 7, A1, A2, A200, DYNAX 5D, 7D, MAXXUM 5D, MAXXUM 7D

Sony: R1

Pentax: istD, istDL, istDS

Panasonic : DMC-FZ30, DMC-LX1

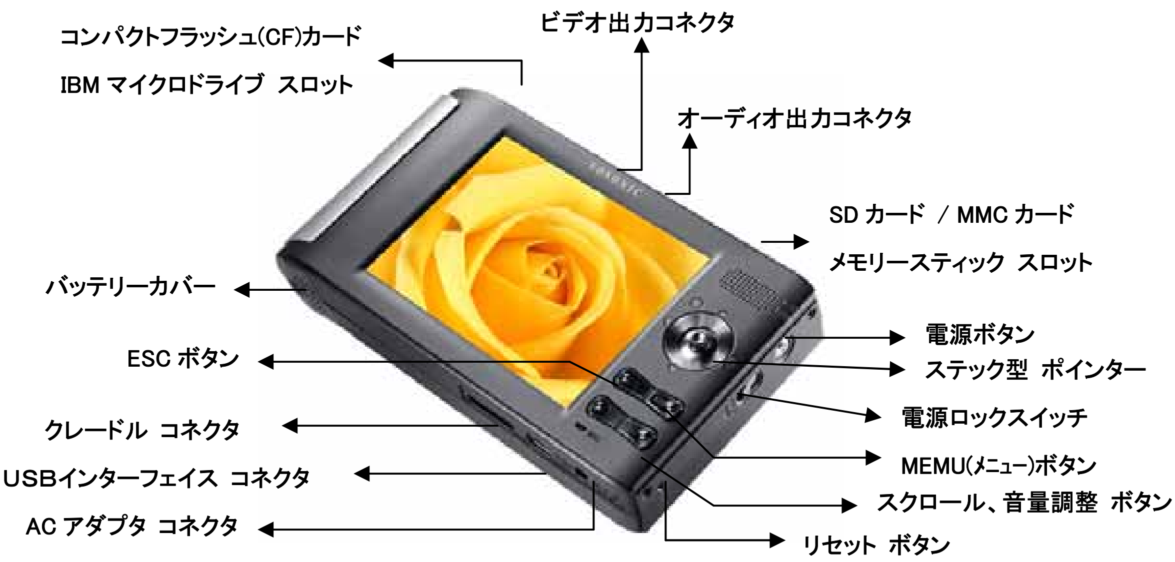
Contax: N Digital

LEICA: AG.R8, AG.R9

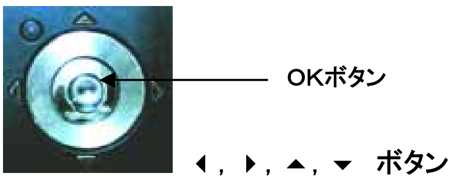
2. 基本機能

各部名称

［本体上面］



［ステック型 ポインタ］



［クレードル(背面)］



ボタン	機能説明
OK	ENTER:[OK **ボタンを押す**]選択中の操作の実行 ROTATE:[OK **ボタンを回転**]、ビデオ再生中に使用可能
	PAUSE: [OK **ボタンを押す**]ビデオ、音楽再生中に一旦停止
MENU	再生モードの選択
◀	ポインターを使用し、画面上のカーソルを左方向に移動
	Fast Backward : ビデオ、音楽再生中に早戻し
▶	ポインターを使用し、画面上のカーソルを右方向に移動
	Fast Forward : ビデオ、音楽再生中に早送り
▲	ポインターを使用し、画面上のカーソルを上方向に移動
▼	ポインターを使用し、画面上のカーソルを下方向に移動
ESC	一つ前のモードに戻る
+	画像確認時ズームアウト（縮小）できます
	音量調整(小)
−	画像確認時ズームイン（拡大）できます
	音量調整(大)

3. 基本的な使用方法

3-1 最初に

1. 初めて使用するときは必ず充電してからお使いください。4 時間程度の充電が必要です。
   AC アダプターを本体の AC アダプターコネクターに直接接続するか、クレードルに AC アダプターを接続してクレードルに本体を置けば充電されます。
2. 電源ボタンを 2 秒間押すと緑の LED が点灯し、システムが起動します。
   再度電源ボタンを 2 秒間押すと停止します。

3-2 ドライバーのインストール

Windows Me、Windows XP HomeEdition、Professional Edition、
,Win2000 Professional SP 3 以上

Windows Me、 Windows XP HomeEdition、 Professional Edition、 Win2000 Professional SP 3 では、VP8360 を USB ケーブルでコンピュータに接続して、ドライバをインストールせずにご使用できます。
自動的に全てのメディアスロット及び内蔵ハードディスクをリムーバブルディスクとして認識します。
各ドライブのアイコンは下記のように表示されます。



Windows 98/98 SE

1	ドライバCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。 **“マイコンピュータ”**をダブルクリックします。
2	CD-ROM内の“**WINDOWS**”フォルダーより“**SETUP.EXE**”をダブルクリックして実行します。 画面の指示に従がいインストールを完了します。
3	インストールが完了したらコンピュータを再起動してください。
4	コンピュータ再起動後、VP8360 を USB ケーブルでコンピュータに接続すると、メディアスロット及び内蔵ハードディスクを認識します。 各ドライブのアイコンは下記のように表示されます。 

Micintosh MacOS X

1	ドライバCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。 “**マイコンピュータ**”をダブルクリックします。
2	CD-ROM内の“**MAC**”フォルダーより“**MacOS Installer**”をダブルクリックして実行します。 画面の指示に従がいインストールを完了します。
3	インストールが完了したらコンピュータを再起動してください。

3-3 パソコンと接続しての使用方法

- VP8360 の電源を入れる
- VP8360 の USB インターフェースコネクタとパソコンの USB ポートを、付属の USB ケーブルで直接接続するか、付属のクレードルの USB インターフェースコネクタとパソコンの USB ポートを接続して、AC アダプターを接続しておけば、クレードルに本体を乗せるだけでパソコンとの接続が出来ます。
- “**マイコンピュータ**”をダブルクリックすると自動的にすべてのメディアのスロット、内蔵ハードディスクをリムーバブルディスクとして認識し、アイコンを表示します
- コンピュータを操作してデータの編集、加工、コピーなどができます
- VP8360 がコンピュータに接続している間、液晶画面に“**MSC Device**”と表示されます。

注意:コンピュータに接続されてデータの転送中には以下のことを行わないでください。データを破損する恐れがあります。

- USBケーブル、電源ケーブルを抜くこと。
- メモリーカードをスロットから抜くこと。

Note:

- パソコンに接続して使用する場合、AC アダプター接続してご利用ください。
- VP8360 は FAT ファイルシステムを使用しています。単一のファイルの最大のサイズは、通常 2GB に制限されます。
- USB Mode の設定が[Media Player]モード設定の場合、Windows は VP8360 内部ハードディスクのみを表示します。カードリーダーは機能しません
- VP8360 を安全に PC より外すにはシステムトレイ上の「ハードウエアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックし「安全に取り外すことができます」の表示がでてから USB ケーブルを取り外してください。



3-4 VP8360 のハードディスクをフォーマットする 。

1. ポインターをハードディスクのアイコンに移動して[MENU] ボタンを押す。
2. メニューから"Format Disk"「ハードディスクをフォーマット」を選択し[OK]ボタンを押す。

3."All data will be deleted"「すべてのデーターは消去されます」のメッセージで[YES]を選択し、さらに"Confirm?"「よろしいですか？」のメッセージで[YES]を選択するとハードディスクがフォーマットされます。

4.フォーマット終了後以下のフォルダーが自動作成されます。このフォルダーはメイン画面の各ショートカットアイコンのリンク先となります。PCフォーマットした場合はご自身で以下のフォルダーを作成してください。

メニューアイコン		作成フォルダー	主な用途
"Music"アイコン	→	¥Media¥music	音楽ファイル用
"Pictures"アイコン	→	¥Media¥Pictures	画像（写真）ファイル用
"Video"アイコン	→	¥Media¥Video	ビデオファイル用
"VideoRec"アイコン	→	¥Media¥VideoRec	ビデオ録画ファイル用
"AudioRec"アイコン	→	¥Media¥AudioRec	録音データ用
"Backup"アイコン	→	¥Backup	メディアデータ保存先
		¥Data	
		¥System	

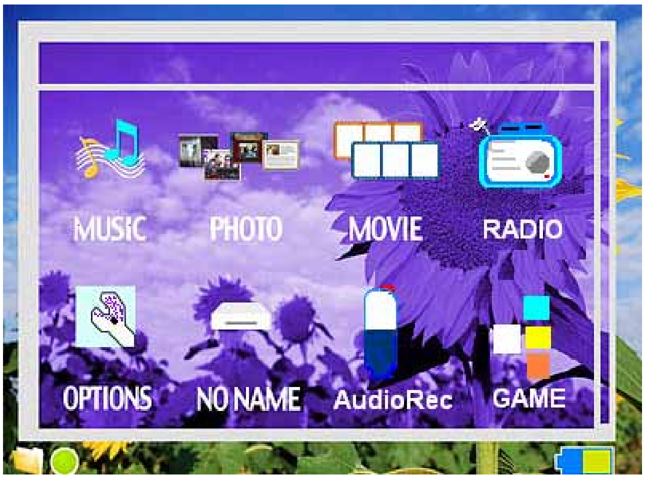
注意：以下の項目に注意してフォーマットを行ってください。

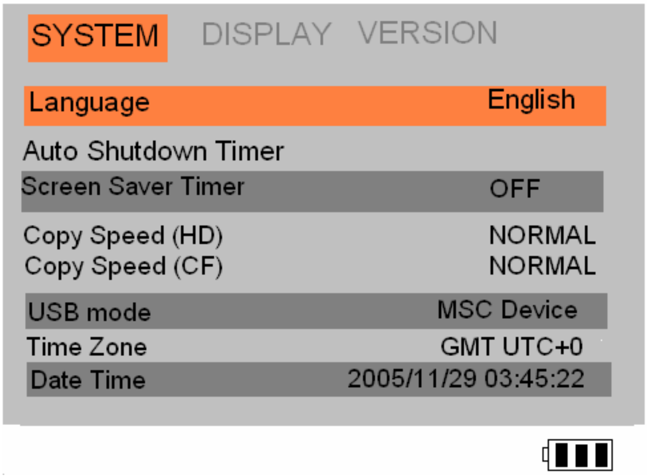
- 出荷時にはハードディスクはフォーマットされています。特に問題が発生していなければフォーマットをする必要はありません。
- フォーマット中は付属のACアダプターを使用してください。
- ハードディスク内のデータはフォーマット時に失われます。必要なデータはバックアップしておいてください。

4. 各種設定

4-1 SYSTEM 設定

ポインターでカーソル移動し“Options”を選択して[OK] ボタンを押す。





Note：“サポート外設定！！”と表記のある設定を変更してご使用された場合、通常の使用に支障をきたす恐れがあります。
標準設定と記載された設定でご利用ください。標準設定以外の設定は弊社サポート外となります。

1） 言語設定(Language)　**サポート外設定！！**　標準設定：English

VP8360 では英語、日本語、韓国語、中国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、タイ語が選択できます。ただし英語以外の表示については一部表記が正常ではない場合があります。
現在正式にサポートされている言語は**英語(English)**のみとなっております。

2） 自動シャットダウンタイマー設定(Auto Shutdown Timer)

一定時間操作が行われなかった場合、自動で電源を切ります。
+/-ボタン、スティックレバーで OFF、1分～30 分の間で設定できます。

3） HDDスリープタイマー設定(Hard Disk Sleep Timer)

一定時間操作が行われなかった場合、ハードディスクをスリープモードにします。
+/-ボタン、スティックレバーで 30 秒～180 秒の間で設定できます。

4） HDDコピースピード設定(copy Speed HD)　**サポート外設定！！**　標準設定：NORMAL

HDDへのコピースピードを NORMAL / HIGH / ULTRA の 3 段階で設定できます。
※HIGH / ULTRA で使用した場合誤動作を起こす場合があります。

5） CFコピースピード設定(copy Speed CF)　**サポート外設定！！**　標準設定：NORMAL

CFへのコピースピードを NORMAL / HIGH / ULTRA の 3 段階で設定できます。
※HIGH / ULTRA で使用した場合誤動作を起こす場合があります。

6）USB モードの設定(USB Mode)
“Mass Storage Device”、大容量記装置(MSC)モード
“PictBridge/Media Player”、メディア転送(MTP)モード
+/-ボタン、スティックレバーでいづれかのモードに設定できます。

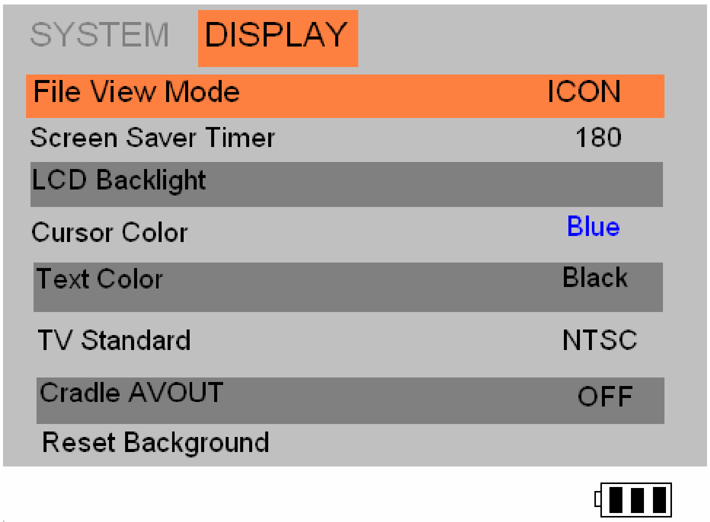
7）タイムゾーン設定(Time Zone)
世界各都市の時刻の表示が可能です。
日本の設定は“Tokyo,Seoul UTC+9”になります。

8）年月日、時刻設定(Date Time)
本体内蔵時計を設定します。
スティックレバーで項目を選択して+/-ボタンで設定できます。

4-2 DISPLAY 設定

ポインターでカーソル移動し“Options”を選択して[OK] ボタンを押す。
ポインターで“DISPLAY”を選択する

Note：“**サポート外設定！！**”と表記のある設定を変更してご使用された場合、通常の使用に支障をきたす恐れがあります。
標準設定と記載された設定でご利用ください。標準設定以外の設定は弊社サポート外となります。



1）ファイルビューア(File View Mode)
+/-ボタン、スティックレバーでアイコン表示(ICON)、リスト表示(List)、オート(Auto)を選択することができます。

2）スクリーンセーバー(Screen Save Timer)

バッテリーの消耗をおさえるためにスクリーンセーバーモードを設定することができます。
+/−ボタン、スティックレバーで OFF、5～180 秒の間で設定することができます。

3） LCD バックライト(LCD Backlight)
+/−ボタン、スティックレバーで LCD の明るさを −9 ～ +9 の範囲で設定できます。

4） テキスト(文字)カラー設定(Text Color)
+/−ボタン、スティックレバーで文字の色をお好みの色に変更できます。

5） カーソルカラー設定(Cursor Color)
+/−ボタン、スティックレバーでカーソルの色をお好みの色に変更できます。

6） TV 出力形式(TV Standard) **サポート外設定！！** 標準設定：NTSC
+/−ボタン、スティックレバーでTV出力形式を NTSC 方式 ／ PAL 方式に設定できます。

7） クレードル映像出力設定(Cradle AVOUT)
VP8360 本体をクレードルに乗せたときの映像出力の設定が出来ます。
ON・・・クレードルの AVOUT に接続されている機器に映像を出力します。(本体の液晶は表示しません。)
OFF・・・本体の液晶に表示します。AVOUT には出力されません。

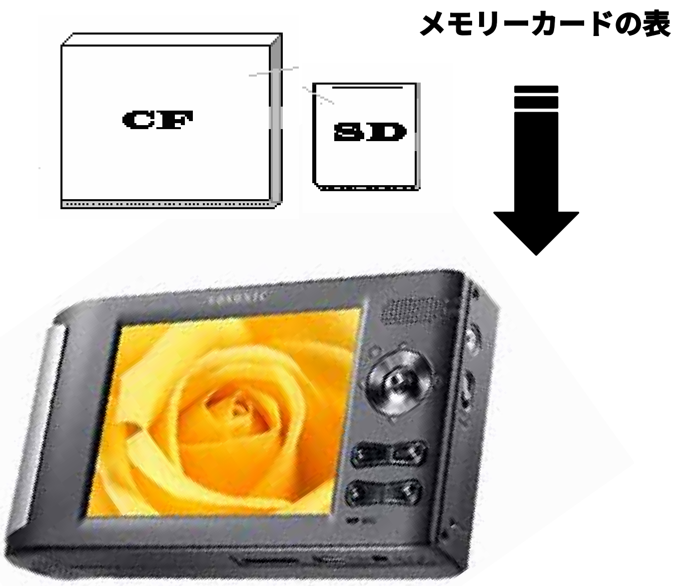
8） 壁紙表示の初期化(Reset Background)
[OK]ボタンを押し、"Reset Background"にて[YES]を選択すると壁紙の表示が初期状態に戻ります。

5. メモリーカードと本体のデータ転送

本体、メモリーカード相互間のファイル操作

VP8360では、内蔵ハードディスクと対応するメモリーカードで相互間のファイル操作が可能です。
本説明書18ページの画像再生モードの項をご参照ください。

フォトストレージ機能 (バックアップ)



メモリーカードが挿入されると"No Action""Full Backup""Photo Backup".と表示されます。

Full Backup:フルバックアップ(全データーコピー)

- ポインターでカーソルを移動し挿入したメディアのショートカットを選択して[MENU] ボタンを押す。
- 表示されたメニューから"Full Backup"「フルバックアップ」を選択します。
- コピー先のフォルダーが表示され"YES"を選択するとバックアップが開始されます。

Photo Backup:フォトバックアップ(写真データーコピー)

標準的なデジタルカメラで撮影保存されたフォルダー内のデーターをコピーします。

- ポインターでカーソルを移動し挿入したメディアのショートカットを選択して[MENU] ボタンを押す。
- 表示されたメニューから"Photo Backup"「フォトバックアップ」を選択します。
- コピー先のフォルダーが表示され"YES"を選択するとバックアップが開始されます。

Note:フォトバックアップでコピーされるデータは標準的なデジタルカメラで作成される"DCIM"フォルダー内の各フォルダーのデータのみです。また、ファイル名の重複を避けるため自動的にファイル名が変更されてコピーされます。

No Action：何もしない

直前のメニューに戻ります。挿入したメディアは認識されます

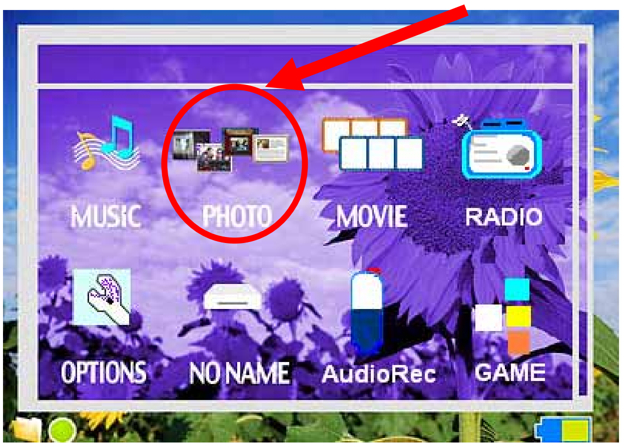
再度メディアのバックアップを行う場合はスクロールで挿入したカードを選択して"MENU"ボタンを押します。

リスト中の"Full Backup"/"Photo Backup"を選択してください。

- それぞれのメモリカード上のすべてのファイルはハードディスクの"BACKUP"フォルダー内に次のようなフォルダ名にて保管されていきます。" CF0001 " , " MS0001" , "SM0001" , "SD0001".　最初の 2 文字が元のメディアのタイプを表し、後の 4 桁の数字が、コピーの回数とともに順に増えて行きます。
- ファイルの転送を停止するには、「ESC」ボタンを押すと転送を中止します。
- 同じメディアが 2 回挿入されコピーを 2 回した場合は、違うフォルダ名が作成されそこにコピーされます。VP8360 はもとのフォルダに上書きすることはありません。
- 最新のファームウェアーではメディアを挿入すると自動的にコピーメニューが表示されます。コピーをしない場合は"No Action"を選択してメニューを終了してください。

6. 画像再生モード

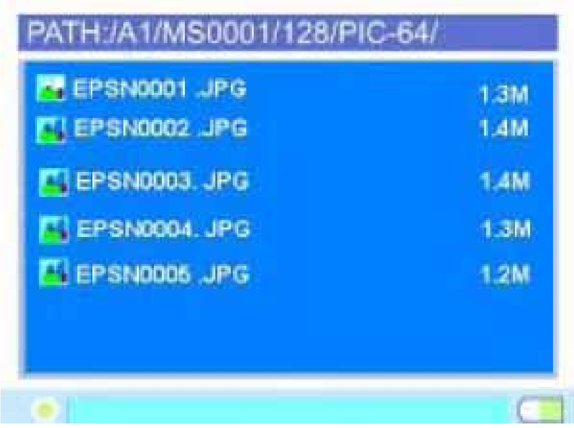
ポインターでカーソル移動し“Pictures”を選択して[OK] ボタンを押す。



[MENU]ボタンを押して再生モード、アイコン表示(ICON)、リスト表示(List)、オート(Auto)を選択し、[OK]ボタンを押します。

リスト表示 ／ アイコン表示

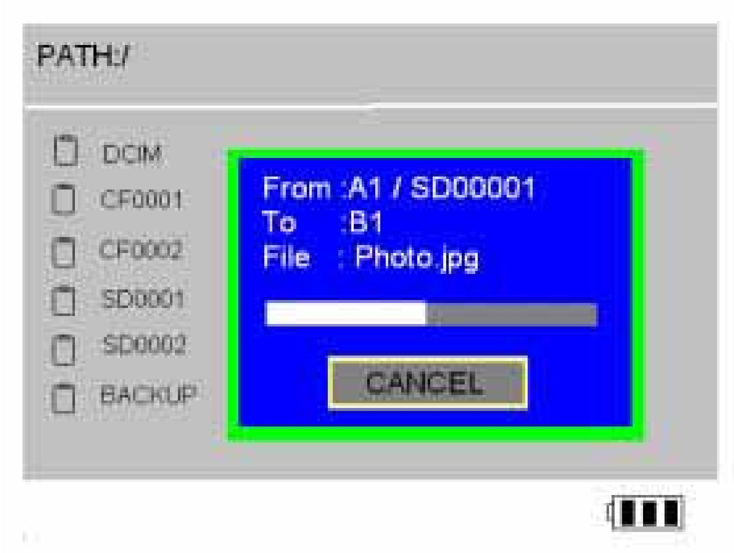
リスト表示:8 行ずつファイル名を表示します。 **アイコン表示**:8 枚ずつサムネイル表示します。





ファイルのコピー

- カーソルをコピーしたいファイル又はフォルダーに移動する。
- [MENU]ボタンを押し”Copy”「コピー」を選択して[OK]ボタンを押す
- “Copied to clipboard”「クリップボードにコピーしますか？」が表示されたら“OK”を押す
- コピー先のフォルダー又はショットカットを選択して[OK]ボタンを押す。
- [MENU]ボタンを押し”Paste”「貼り付け」を選択して[OK]ボタンを押す
- “Paste from clipboard?”「クリップボードから貼り付けますか？」と表示されたら“YES”を選択して[OK]ボタンを押す。
- コピーが開始されます。



ファイルの移動

- カーソルを移動したいファイル又はフォルダーに移動する。
- [MENU]ボタンを押し”Cut”「切取り」を選択して[OK]ボタンを押す
- “Copied to clipboard”「クリップボードにコピーしますか？」が表示されたら“OK”を押す
- コピー先のフォルダー又はショットカットを選択して[OK]ボタンを押す。
- [MENU]ボタンを押し”Paste”「貼り付け」を選択して[OK]ボタンを押す
- “Paste from clipboard?”「クリップボードから貼り付けますか？」と表示されたら“YES”を選択して[OK]ボタンを押す。
- ファイルが移動されます。

ファイルの削除

- カーソルを削除したいファイル又はフォルダーに移動する。
- [MENU]ボタンを押し”Delete”「削除」を選択して[OK]ボタンを押す。
- “Delete File?”「ファイルを削除しますか？」が表示されたら“OK”を押す。
- ファイルが削除されます。

Note：

- ■ ファイルのコピー、移動、削除の操作で選択するファイル又はフォルダーは内蔵ハードディスクの他、メモリーカードでも可能です。内蔵ハードディスク→メモリーカード等のコピー、移動の操作も可能です。
- ■ ファイルの移動で移動先を指定しないで操作をやめた場合、ファイル又はフォルダは元の場所に残ります。データーを削除したい場合はファイルの削除の操作を行ってください。

注意：一度削除したファイルは元には戻せません。削除する前に必ずご確認してから操作を行ってください。

その他の機能

EXIF(画像のプロパティ)を表示する

- カーソルを表示したいファイルに移動して[OK]ボタンを押して画像を表示する。
- [MENU]ボタンを押し”Show EXIF”「プロパティーを見る」を選択して[OK]ボタンを押す。
- EXIFの内容が表示されます。

スライドショー

- カーソルを表示したいフォルダー内のファイルに移動して[OK]ボタンを押して画像を表示する。
- [MENU]ボタンを押し”Slide Show”「スライドショー」を選択して[OK]ボタンを押す。
- スライドショーが開始されます。

※高解像度の画像データでスライドショーを行った場合、各操作の反応速度が遅くなる場合があります。

Note : スライドショー実行中ポインターの ▶ ◀ を押すと画像の表示間隔が 1 秒～60 秒に設定できます。

壁紙設定

- カーソルを壁紙設定するファイルに移動して[OK]ボタンを押して画像を表示する。
- [MENU]ボタンを押し”Set as Background”「壁紙」を選択して[OK]ボタンを押す。

ズームイン ／ ズームアウト

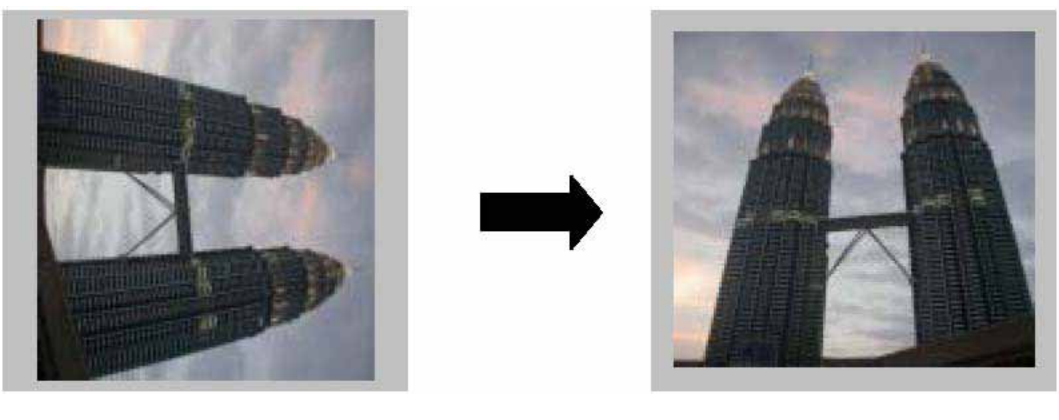
画像表示中に +/−レバーでズームイン(拡大)／アウト(縮小)表示ができます。

またポインターを上下左右に動かすと画像が移動します。



画像の回転

画像表示中に[OK]ボタンを押すと画像が90度ずつ回転します。



7. 音楽再生モード

ポインターでカーソル移動し再生したいデータを選択して[OK] ボタンを押します。
同一フォルダー内の再生可能なデータがプレイ(再生)リストに登録され、ジュークボックスが起動して音楽再生を行います。
データ再生中に[MEMU]ボタンを押すとメニューが表示されます。



プレイ(再生)リスト表示

- カーソルで“Play list”「プレイリスト」を選択し[OK]ボタンを押すとプレイリストが表示されます。
- カーソルでお好みのデータを選択して[OK]ボタンを押すと選択されたデータを再生します。

ランダム再生(シャッフル)機能

- カーソルで“Shuffle ON”「シャッフル　オン」を選択し[OK]ボタンを押すとプレイリスト内のデータをランダムに再生します。解除するときは“Shuffle OFF”「シャッフル　オフ」を選択します。

連続再生(リピート)機能

本製品は2種類の連続再生が可能です。

- “Repeat All”「オールリピート」･･･プレイリスト内のデータを繰返し再生します。
- “Repeat Single”「シングルリピート」･･･再生中のデータを繰返し再生します。

リピート機能が設定されていない場合メニューリストには

- “Repeat All”「オールリピート」　／　“Repeat Single”「シングルリピート」の2つの項目が表示されます。
- 設定したい項目を選択して [OK]ボタンを押すと選択したモードで連続再生が行われます。

リピート機能が設定されている場合メニューリストには

- 設定されていないリピートモード　／　“Repeat Off”「リピートオフ」の2つの項目が表示されます。
- 設定したい項目を選択して [OK]ボタンを押すと選択した連続再生モードへの変更、又は連続再生が解除されます。

イコライザー機能

- カーソルで“Equalizer”「イコライザー」を選択し[OK]ボタンを押すと 6 種類のモードが表示されます。（Normal, Bass,Classic, Dance, Live, Rock , Treble）からお好みの音を選択して[OK]ボタンを押すと選択したモードで音楽再生します。

キーロック

- カーソルで“Key Lock”「キーロック」を選択し[OK]ボタンを押すと本体のキー操作が無効になります。
- 解除する場合は[MENU]→[ESC]の順でボタンを押します。

バックグラウンド再生（BGM）機能

- カーソルで“Play in Background”「バックグラウンド再生」を選択し[OK]ボタンを押すと音楽を再生したまま他の操作が可能になります。スライドショーなどの BGM としても利用できる機能です。
- 解除する場合は[MENU]ボタンを押し“Jukebox”「ジュークボックス」を選択して[OK]ボタンを押します。ジュークボックスが表示されバックグラウンド再生機能は解除されます。

音楽再生中のその他機能

- [OK]ボタンを押すと再生が一時停止されます。もう一度[OK]ボタンを押すと再生を開始します。
- ポインターの[▸]を押すと早送りとなります。
- ポインターの[◂]を押すと早戻しとなります。
- ポインターの[▴]を押す前のデータを再生します。
- ポインターの[▾]を押す次のデータを再生します。

再生中のプレイリストにデータを追加することが出来ます。

- バックグラウンド再生を行います。
- 追加したいデータのファイル又はフォルダーを選択して[MENU]ボタンを押します。
- 表示されたメニューの中から“Add to Playlist”「プレイリストに追加」を選択して[OK]ボタンを押します。
- 選択したデータがプレイリストに追加されます。バックグラウンド再生を解除してプレイリストを表示すると確認できます。

8. ビデオ再生モード

VP8360 で再生可能なファイル形式は本マニュアルそ仕様の欄をご確認ください。 →5 ページ

ポインターでカーソル移動し再生したいビデオデータを選択して[OK] ボタンを押します。
同一フォルダー内の再生可能なデータがプレイリストに登録され、ビデオが再生されます。
ビデオ再生中に[MEMU]ボタンを押すとメニューが表示されます。

プレイ(再生)リスト表示

- カーソルで"Play list"「プレイリスト」を選択し[OK]ボタンを押すとプレイリストが表示されます。
- カーソルでお好みのデータを選択して[OK]ボタンを押すと選択されたデータを再生します。

連続再生(リピート)機能

- "Repeat On/Off"「リピート オン／オフ」･･･選択して[OK]ボタンを押すたびに切り替ります。

リピート機能が有効の場合には2種類の連続再生が可能です。

- "Repeat All"「オールリピート」･･･プレイリスト内のデータを繰返し再生します。
- "Repeat Single"「シングルリピート」･･･再生中のデータを繰返し再生します。

※リピート機能が無効の場合メニューリストにはリピートモードの表示はありません。

音声切り換え

- "Stereo"「ステレオ」･･･音声をステレオで出力します。
- "Left Channel"「左チャンネル」･･･音声を左チャンネルのみ出力します。
- "Right Channel"「右チャンネル」･･･音声を右チャンネルのみ出力します。

※設定されている項目はメニューリストに表示されません。

ビデオ再生中のその他機能

- [OK]ボタンを押すと再生が一時停止されます。もう一度[OK]ボタンを押すと再生を開始します。
- ポインターの[▶]を押し続けると早送りとなります。
- ポインターの[◀]を押し続けると早戻しとなります。
- ポインターの[▲]を押すと早送りとなります。[OK]ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- ポインターの[▼]を押すと早戻しとなります。[OK]ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

ビデオクリップまたはスライドショーテレビで表示するには

- DISPLAY 設定の Cradle AVOUT の設定を"ON"にします →13 ページ参照
- クレードルの AV-OUT 端子とテレビのビデオ入力端子を接続します。
- クレードルに本体を乗せ電源を入れると VP8360 の液晶には何も表示されず、接続したテレビに映像が表示されます。

9. ビデオ録画

通常録画

- VP8360 を付属のクレードルに置き、AV IN 端子に録画したい映像機器を接続します。
 ※テレビ、ビデオ等の映像出力端子からクレードルの AV IN 端子に接続します
- SYSTEM 設定の USB Mode の設定を"PictBridge/Media Player"にします →13 ページ参照
- ポインターでカーソルを"VideoRec"に移動し[OK] ボタンを押しリストメニューで[Record]を選択すると録画を開始します。
- 再度[OK]ボタンを押すと録画が停止します。

タイマー録画

- 通常録画と同じ準備をします。
- ポインターでカーソルを"VideoRec"に移動し[OK]ボタンを押しリストメニューで[Schedule]を選択する。
- Schedule1～8 のいずれかの項目を選択して[OK]ボタンを押します。
- 各種設定を入力します。
 "Storage" → HD のままにしてください。
 "Quality" → 解像度を選択します。320×240 PSP 再生用、320×240 Normal、320×240 Fine、352×240 Normal、352×240 Fine、640×480 Fine
 "Start Time" → 録画開始時刻を設定します。
 "End Time" → 録画終了時刻を設定します。
- すでに設定済みのスケジュールを選択すると以下の設定が行えます。
 "Set REC Schedule" → 設定済みのスケジュールを編集できます。
 "Stop REC Schedule" → 選択したスケジュールを消去します。
 "Stop All REC Schedule" → すべてのスケジュールを消去します。

録画したファイルの再生

- ポインターでカーソルを"VideoRec"に移動し[OK] ボタンを押しリストメニューで[Playback]を選択します。
- 録画されているファイルを表示しますので、再生したいファイルを選択して[OK]ボタンを押すと再生します。

10. 録音

内蔵マイクでの録音（モノラル）

1. ポインターでカーソルを移動し“Audio Rec”「録音」を選択して[OK] ボタンを押す。
2. [MENU]ボタンを押し、表示されたメニューから“Mic-In”「マイクイン」を選択します。
   ※すでに“Mic-In”が選択されている場合、メニュー表示は“Line-In”となりますので変更する必要はありません。
3. [OK]ボタンを押すと録音が開始されます。
4. 再び[OK]ボタン又は[ESC]ボタンを押すと録音が停止します。

ライン入力による録音（ステレオ）

CDプレーヤーなどのオーディオの機器から音楽を直接録音することが出来ます。

付属の入力用ケーブルでオーディオ機器から本体のライン入力端子に接続してください。

※ 使用するオーディオ機器によっては変換コネクタなどが必要になる場合があります。

1. ポインターでカーソルを移動し“Audio Rec”「録音」を選択して[OK] ボタンを押す。
2. [MENU]ボタンを押し、表示されたメニューから“Line-In”「ラインイン」を選択します。
   ※すでに“Line-In”が選択されている場合、メニュー表示は“Mic-In”となりますので変更する必要はありません。
3. [OK]ボタンを押すと録音が開始されます。
4. 再び[OK]ボタン又は[ESC]ボタンを押すと録音が停止します。

Note:オーディオ機器から録音する場合は接続するオーディオ機器のボリュームを操作して適正な録音レベルで録音を行ってください。

録音音質の設定

- 録音画面で[MENU]ボタンを押して表示されたメニューから“Quality”「音質」を選択します。
- H:[高音質], M[中音質], L[低音質]より録音時の音質を[OK]ボタンを押して選択してください。

※設定されている音質はメニューに表示されません。

録音中のオーディオ出力

録音中の音声、音楽を外部出力端子より出力して確認することが出来ます。

- 録音画面で[MENU]ボタンを押し、表示されたメニューから“Enable AOUT”「オーディオ出力有効」を選択します。

※すでに“Enable AOUT”が選択されている場合、メニュー表示は“Disable AOUT” 「オーディオ出力無効」となりますので変更する必要はありません。

11. FM ラジオ

イヤホンは FM アンテナとして作動しますので確実にイヤホーンジャックと接続してください。イヤホンを接続しないと受信できません。

- ポインターでカーソルを"Radio"に移動し[OK]ボタンを押します。
- ステック型ポインターを左右に倒すと周波数が変わります。また 2 秒以上倒し続けるとスキャンを開始します。
- ステック型ポインターを上下に倒すとメモリチャンネルが切り替わります。
- ラジオ起動中に[MENU]ボタンを押すと以下のリストメニューが表示されます。

  "Record" → 受信している周波数を録音します。

  "Scan & Save" → 受信可能な周波数をスキャン、メモリを同時に行います。

  "Save" → 現在の周波数をメモリします。CHANNEL1～9 にメモリが可能です。

  "Group1or2" → Group を切り替えます。グループごとに 9 局、計 18 局のメモリが可能です。

注意：周囲の環境や電波状況によってはラジオ放送を受信できない場合がございます。

12. ゲーム(MATRIX)

- ポインターでカーソルを"GAME"に移動し[OK]ボタンを押します。
- ステック型ポインターを上下に倒すとレベルが 1～9 まで変わります。[OK]ボタンでスタートします。
- ステック型ポインターの下、左、右で操作してください。
- [MENU]ボタンで一時停止、[ESC]ボタンで終了します。

13. テキストビューア

テキストファイル"*.txt"形式のファイルを表示する事が可能です。

14. 印刷機能

VP8360 はパソコンを使わずに Pictbridg 対応のプリンターから直接印刷出来ます。

VP8360 とプリンターを USB ケーブルで接続してください。
未対応機種の場合もしくは接続に問題が有る場合は「No Supported Printer」と表示されます。
プリントアウトする画像を確認して、「MENU」ボタンで「Print」を選択しステック型ポインターで実行します。
注意：印刷機能は JPEG ファイルのみサポートしています。

15. 充電

ACアダプタを使用して充電する。

−AC アダプタのプラグをユニットの DC5V ジャックと接続してください。

−パワーLED が消えたら充電完了です。

16. エラー

1. エラーが表示された場合、メモリーカード上のデータが壊れている可能性があるのでフォーマットしなおすか、別のメモリーカードに交換してください。
2. 誤った操作などでシャットダウン、操作不能となった場合は、本体側面の[reset]ボタンを押してください。
3. バッテリーが充電されていない状態でコンピュータに接続した場合、エラーが発生したり、表示される場合があります。USBケーブルを抜き本体側面の[reset]ボタンを押してください。

17. ハードディスクの取り扱いについて

■ コンピュータあるいは、VP8360 がハードディスクを認識できない場合は、次のことを確認してください。:

・ ドライバーが必要な場合はインストールされているか。

・ ハードディスクはフォーマットされているか。Windows2000 でフォーマットする際には NTFS システムは使用しないでください

■ ハードディスクの状態を良好に保つため、時々、スキャンディスクや、デフラグを実行してください。

■ ハードディスクは FAT/32 フォーマットでフォーマットしてください。NTFS フォーマットでは使用できません。

18. 長くお使いいただくために

■ メモリカードの挿入、取り出しには注意してください。

■ 落下、投げ捨て、飛び跳ね等、強い振動を与えないでください。

■ ショート防止のため、本体の蓋を開けたまま操作しないでください

■ 発火やショート防止のため、雨の当たるところや液体がかかるようなところでは使用しないでください。

■ コンピューターと接続中は、付属の AC アダプタを本体に接続してご使用ください。

19. トラブルシューティング

お客様本人による修理あるいは分解、改造等を行った場合、保証が無効になります。
トラブルが発生した場合修理に出す前に下記のポイントをチェックしてください。
改善されない場合は購入した販売店様もしくは弊社サポートまで連絡ください。

問題	コンピュータと接続してもドライブを認識しない
解決策	Windows98SEの場合VP8360を接続する前にドライバーをインストールしてください。
	ラップトップコンピュータでドッキングステーションをご使用の場合は、ドッキングステーションなしで接続してください。
	VP8360 にコピーされたファイルがコンピュータから確認できない場合はデータ損失を避けるために、USB ケーブルを抜く前に接続を解除してください。コンピュータと VP8360 内のデータが破損する場合があります。
問題	Macintosh™ OS にて動作が不安定になる
解決策	MacOS 10.0.x は FAT フォーマットを適正にサポートしていないので 10.1 以降までアップグレードする必要があります。
	MacOS X のディスクユーティリティにより作られた FAT-32 フォーマットは正常に動作しない場合がございます、WindowsOS にてフォーマットすることをお勧めします。
	FAT データはマウスが動かされているまで確認できません。
問題	破損データ、一般エラーが発生する場合
解決策	FAT テーブルが破損した場合、メモリーカードから VP8360 に転送されたデータが正常に表示されない場合は、データのバックアップを行った後、スキャンディスク、デフラグ、もしくはメモリーカードを再フォーマットしてください。
問題	エクスプローラからフォーマットできません
解決策	3-4 Windows2000 / XPによるハードディスクのフォーマットを参照してください。
問題	対応するフォーマット形式について
解決策	正常な作動のためにはディスクとメモリーカードは、FAT または FAT-32 ファイルシステムにフォーマットされなければなりません。注：Win 2000/ Win XP は 32G 以上の HDD のフォーマットディスクをサポートしていません。
	FDisk APアプリケーションプログラムを使用することにより Win 2000/ Win XP で 30G以上のHDD フォーマットすることが可能です。.
問題	コンピューター上の空き容量と、VP8360の表示の空き容量が異なった場合
解決策	破損クラスタがある恐れがあります。スキャンディスクを行ってください。

20. よくある質問

問題	回答
音楽が聞こえない?	再生していると表示しているのに何も聞こえない場合はヘッドフォン、スピーカー等に問題が有る場合が有りますので確認してください。
ボタンを押しても反応がない	リセットボタンを押して再度本体を再起動してみてください。
リモコンに反応しない	リモコンを本体に近づけて見てください。 リモコンのバッテリーの残量、極方向などが正常か確認してください。 リモコンをIRセンサーに真っ直ぐ向けて使用してみてください。
音楽を聴きながらファイルを確認するには？	「MENU」のバックグラウンド再生モードで可能です MP3，WMA，WAVオーディオファイル再生時のみ有効
TV映像を再生しましたが白黒で有ったり、画像が乱れるのは？	テレビの再生システムには二種類有ります： –NTSC（日本、US、台湾等 ） –PAL（ヨーロッパ等 ） システムが異なる場合、ノイズが入ったり、画像が乱れる場合があります、SYSTEM設定で正しく設定してください。 →15ページ参照。 日本国内でサポートされるのはNTSC方式のみとなります。

Pict Star 〈VP8360〉

取扱説明書

2006 年 7 月 5 日　第1版発行

発行　　株式会社アクセス

お問い合わせ先

AXES

株式会社アクセス

〒105－0014　東京都港区芝2－5－10　サニーポート芝（芝公園NDビル）906号

電話　03－5730－6686（月～金　祝祭日を除く　10:00～17:00）　FAX　03－5730－6687

http://www.axes.jp　e-mail info@axes.jp